



8/31・9/6

たからだの里で育まれたお米『石野米』と『たからだ米』の新米まつりが、たからだの里さいた周辺でそれぞれ開催されました。このお米は、中山間地特有の昼夜の寒暖差が大きい気候と、阿讃山麓の清流の水で作られたおいしいお米です。イベントでは「新米おむすび」もふるまわれ、訪れた人は新米のもちもちとした食感と甘さを楽しみました。



9/2

勝間小学校の5年生が5月に自分たちで苗を植えたコシヒカリの稲刈りをしました。稲穂は、暑い夏休み中、児童が交代で水の番や世話を続けたので、実がぎっしり詰まっていた。カマを持つのは初めての子がほとんどでしたが、みんなじょうずに稲刈りをし、収穫の喜びを実感しました。



8/20~22

小学校4～6年生を対象にした『三豊市ヨット教室』を仁尾マリーナと鳶島周辺で開催しました。参加した小学生は、最初こそ戸惑っていましたが、セール（帆）でうまく風をつかまえばじめるとおもしろくなり、じょうずに舵（かじ）を取りながらヨットを楽しみました。



8/18

三豊市体育指導委員会の『小学生トランポリン教室』が豊中町体育館で行われました。参加した子どもたちは、ただ遊ぶだけのトランポリンではなく、正しい飛び方や飛ぶ姿勢を教えてもらいました。

# みとよHOT ほっとNEWS

三豊市ホームページ(<http://www.city.mitoyo.lg.jp/>)で好評配信中!!



9/17

比地二幼稚園で「保護者と市長との対話集会」が開かれました。この会では毎月1回市長と教育長が幼稚園を訪問し、保護者の生の声をお聞きしています。この日も子育ての現状やニーズなどについて熱心な意見が交わされました。



9/4

笠田高校と三豊市が共同で実施する『生ごみリサイクル元気野菜作り』の種まきと苗植えが笠田高校中央農場で行われました。この事業は、生ごみを利用して土作りをした土壌において、無農薬・無化学肥料で野菜を栽培し収穫できるかを検証するものです。この日は、笠田高校農産科学科の生徒と市長が“何も手を加えていない土壌”と“生ごみを混ぜた土壌”に、それぞれハクサイの苗などを植えました。

豊中幼稚園の年長児が笠田高校の農園でなし狩りを体験しました。この日収穫したなしは、6月に園児が袋がけして笠田高校の生徒が大切に育ててくれたものです。園児たちは、たくさんのなしの中から「これわたしの!」「ぼくのなし見つけた!」と大喜び。笠田高校のお兄さんお姉さんに持ち上げてもらって、自分のなしを収穫しました。



8/27



8/26

瀬戸内短期大学内の調理室で「親子料理教室」が開催されました。この日参加した親子が挑戦したのは、三豊の新鮮な魚を使った料理です。子どもたちは、あじを丁寧にさばいたり、大きなタコのぬめりをとったりと、みんな真剣なまなざし。親子で協力してできあがった料理は、最高の味でした。



9/4

上高瀬小学校の4年生が、社会科の授業で『高瀬町上高瀬第1地区処理施設』を見学しました。この施設は、集落におけるし尿・生活雑排水の汚水を処理するところです。児童は、汚水がどのように処理されるか、また、処理した水がどのように川へ流れているかを学びました。



8/23・24



9/1

『遊ビリテーション』が高瀬町産地形成促進施設で行われました。この介護予防教室では、健康運動指導士の古市敬子先生の指導のもと、「柔軟体操」や「いすに座ってできる健康体操」など家でもできる簡単な体操をします。参加者は「ここに来ると、友だちとおしゃべりしたり、体を動かしたりして楽しい時間が過ごせます」と皆イキイキとしていました。

第22回浦島太郎旗争奪少年少女スポーツ大会が詫間町内で開催されました。種目は、野球・バレーボール・剣道の3種目、県内外からの総勢58チーム・731人が参加し、熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおりです。

軟式野球	優勝	丸亀城東少年野球クラブ	準優勝	豊浜少年野球
バレーボール	優勝	下高瀬スポーツ少年団	準優勝	詫間ジュニアバレーボール
剣道 高学年	優勝	鵜多津剣道会A	準優勝	勝山少年剣道A
低学年	優勝	森道場	準優勝	郡家剣道スポーツ少年団A



9/4



松崎保育所へプロバスケットボールチーム『高松ファイブアローズ』のアイザック・ソジャーナー選手が遊びに来ました。アイザック選手は、身長が2m、足のサイズはなんと34.5cm。園児たちが「来てくれるのを楽しみにしていました」とあいさつすると、アイザック選手も「いっしょに楽しく遊びましょう」とやさしい笑顔でこたえました。園児たちは、ミニバスケットをしたり、おにごっこをしたりして大はしゃぎ。パパ以上に大きいアイザック選手と、楽しい時間をすごしました。

